

神内治の 新大化け前の関西中小企業

マンションの空き駐車場をレンタルボックスとして有効利用する、業界初のビジネスプランを考案。年間5億円の売り上げを見込み、株式上場も視野に入れる、設立2年目のベンチャー企業。

最近、マンションやビルに設置されている月極め契約の機械式立体駐車場に、空きが増えているという。主な理由は、セタン車限定(高さ1.55以下)の低いタイプのものが大半を占めること。ここ数年急速に増加してきたミニバンなど、屋根の高い車は収容できないからだ。

本社・大阪市淀川区、06・6886
・8444、ホームページのアドレス
<http://www.ark-sp.com/>

アークスペース

「必要とされるものだけを供給していく会社にしたい」という中井社長

など集合住宅では、住戸内の収納スペース不足が深刻化。とくに、パブル期に分譲された60〜70平方メートル規模のマンションには、その傾向が強く、居住者の不満は大きい。

空き駐車場の増加と住戸の収納スペース不足、2つの問題を同時に解決するビジネスを始めたのが、アークスペースの中井哲矢社長



駐車場有効活用システム「P-CUBE」(設置方法は特許出願中)

レンタルボックスに

空き駐車場を有効活用

(31) 仕組みは、そう難しくない。機械式駐車場(車停車用床板(パレット)部に、小型物置き)の車停車用床板(パレット)部に、小型物置きを、独自の方法で設置。ボックスは、基本サイズが幅1.55m、高さ1.55m、奥行き0.55m。車1台分のスペースに通常6個を置く。

駐車の空きが増え、収益減に悩まされているマンションのオーナーや管理組合が、リースやレンタル、割賦販売で購入し、マンション居住者や近隣住民に有料で貸し出す。例えば、1スペースに6個設置したボックスを、月に1個4000円で貸し出した場合、収入は2万4000円。リース契約(84円)だと、そこから約1万1000円が、リース会社を介して、差額の1万3000円がマンションオーナー、管理組合の手に残る。

「実は、この会社は事業コンサルティングとネットビジネス、輸入代行などを始めるために立ち上げたもの。当初、空き駐車場を活用するビジネスは頭になかった」

「少なに見積もっても、年間5億円の売り上げは可能だと思っております」と中井社長。さらに、空き駐車場を駐輪スペースに改造するプランのほか、福祉、インターネット関連の新たなビジネス展開も考えている。

「このまま順調にいけば、視野にあるという株式上場が実現する日も、そう遠くはないか」と中井社長。

上最速で累計1000万台の出荷を果たし、関連ソフトでもミリオンヒットを連発し絶対調の携帯型ゲーム機「ニンテンドーDS」の勢いを、その「ハードン」でつな

戦いは関連業界の株価を大いに刺激するのではないだろうか。

そこで今週は大証ヘラクレス市場に上場するゲームソフトメーカーの「アドソン」(Ark Space)の

効果もあって今期の経常利益は36.7%の大幅増益を見込んでいるが、勢力を保つDS人気を追いついていくことが、

今週のターゲット

22日から千葉・幕張メッセで開催された「東京3」の価格引き下げを

PS3に対する自信のなさを露呈したとの厳しい見方もある。

一方、約10年にわたり家庭用ゲーム機ではソニーの後塵を拝している任天堂だが、12月2日に発売する新型機「Wii」(任天堂)の発表を前に、

「必要とされるものだけを供給していく会社にしたい」という中井社長

「必要とされるものだけを供給していく会社にしたい」という中井社長